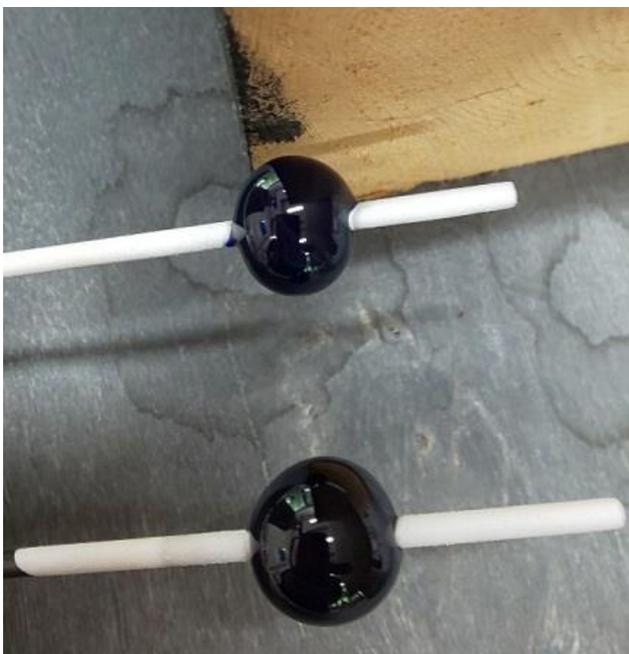


クラフトサークル7月定例会は3年ぶりのガラス玉づくりでした。

27名の参加で、席が24席しかなくてお互いに譲り合い交代で作業しました。



まず先輩が説明しながらお手本をしています。





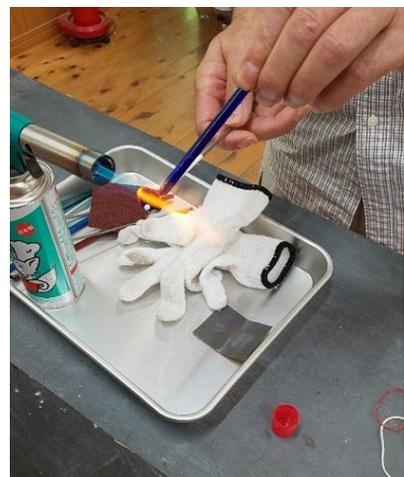
皆さん黙々と真剣な表情です。

火を扱う作業なので慎重に間違って芯棒を触って火傷もあります。

このお二人とも大きな作品づくりです。ベテランです。どちらも2色使いですね



ガラス棒を溶かして芯棒に巻き付けたガラスの玉を丁寧に芯棒回して丸くまとめています。



芯棒を紙やすりで丁寧に汚れや傷を削ってひっかかりをなくしています。
これも大事です。折角ガラスが丸くなくても引っかかって外せなくなります。



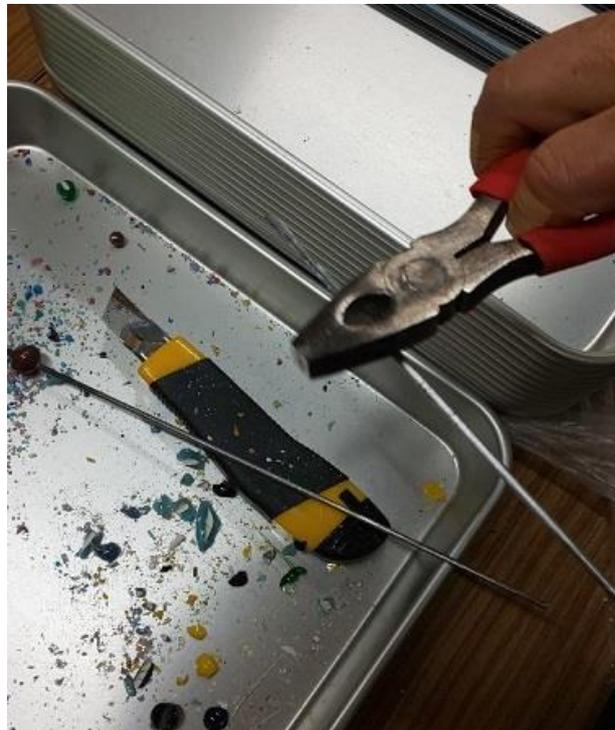
綺麗な色の玉ができてきました。



やはり取れないガラス玉もあります。

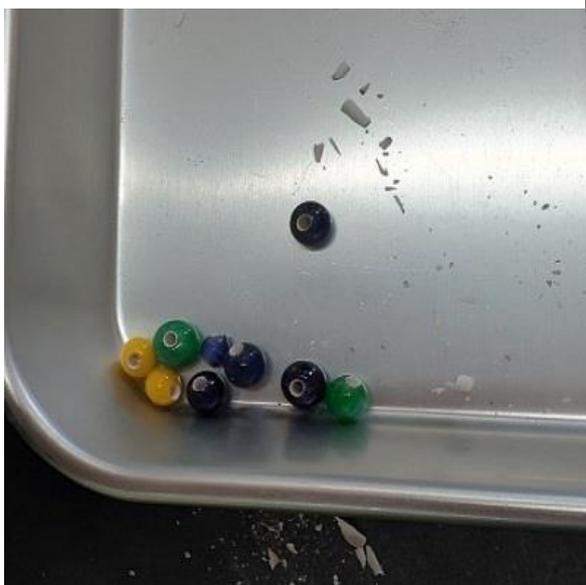
剥離剤が綺麗についていなくて、はずれません。芯棒に傷があったりするととれません。

そんな時はしかたないのでペンチで割ったりして外します。

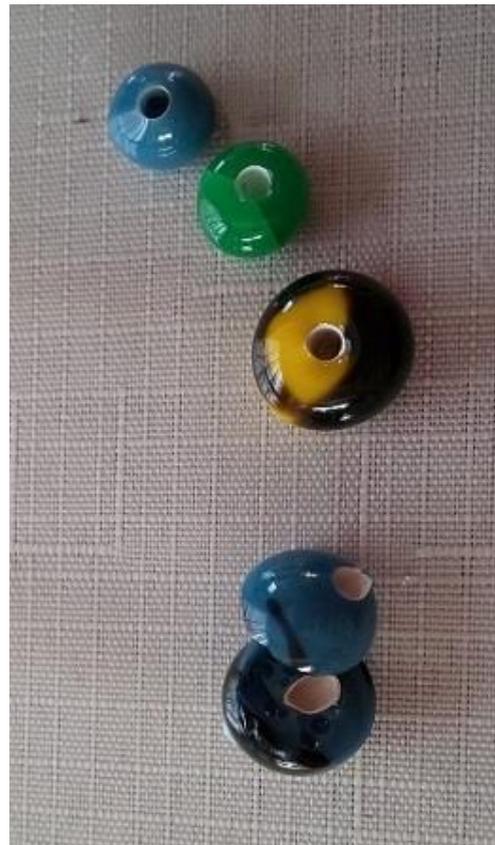


色んな色のガラス玉ができてきました。

大きい作品をつくる人もあれば、小さいのを
沢山作る人もあります。







皆さん楽しんでくれましたでしょうか。これで今度飛鳥へガラス玉づくりに来られるお客様へのお手伝いできるようになったかしら。

時々修学旅行にこられてガラス玉づくり、勾玉作り、銅鏡づくりの体験などされる時があります。お手伝いします。飛鳥歴史公園館へ問い合わせてください。

残念ながら持って帰ってから割れたりします。(右写真下の玉) 2色でしましたが中に気泡がありました。それが原因で割れたようです。

それも含めて思い出になります。一度体験してみてください。